学校番号	1016

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「保育実践」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○２年次で学んだことを基礎とし、さらに子育てに関心をもち、積極的に取り組みましょう
・より具体的に、保育についての知識や技術を獲得し、実践していきましょう。
・子どもに関わるすべての事柄を、育てる者としての視点から考えましょう。
・子どもと積極的に関わる機会をもちましょう。
・保育検定３級の合格めざし、音楽リズム表現・家庭看護の技術を練習しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけ、子どもの表現活動や子育て支援など、状況に応じてその能力を発揮できるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】子どもの発達や保育にかかわる現状について課題をみつけ、子どもを取り巻く環境の変化に対応した保育を担う人物として合理的かつ創造的に解決する力を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】子どもの発達の特性や発達過程、保育に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけており、状況に応じてその能力を使用することができる。 子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。 子供の表現活動や子育て支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身についている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題をみつけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。 保育や子育て支援に関する課題を発見し、子供を取り巻く環境の変化に対応した保育を担う人物として合理的かつ創造的に解決する力が身についている。	子どもの発達と保育について関心をもち、意欲的に、かつ主体的に学習に取り組むとともに、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。 保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ共同的に取り組む態度が養われている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子供の表現活動と保育	子供の表現活動の面白さ 言語表現活動 ・劇遊び ・人形劇 音楽・身体表現活動 ・子供の歌と演奏 ・絵描き唄、手遊び ・ダンス 情報手段などを活用した活動 表現活動の実際	a:子供の表現活動の意義と重要性を理解し、子供の様々な表現活動を促す技術を身につけている。 b:子供の様々な表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 c:子供の表現活動と保育について自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ共同的に取り組んでいる	授業プリント 定期考査	実習取組 実習計画 実習観察 自己評価 相互評価 発表 レポート	実習計画 実習観察 レポート 発表 自己評価 相互評価
		＊保育検定3級実施 「家庭看護技術」 「音楽リズム表現技術」	a:保育検定技術に関する基礎的な技術を身につけている。 保育技術検定に必要な知識を身に付けている。 b:保育技術検定の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:保育技術検定を主体的に取り組もうとしている。	授業プリント 自己評価 相互評価	検定取組 検定結果	検定取組 検定観察 自己評価 相互評価
2学期	子育て支援と保育	子供・子育ての問題 ・子供・子育ての現状 ・子育て支援の意義と役割 ・子育て相談の内容 子育て支援のための各種施設 ・様々な子育て支援 ・保育の場での子育て支援 子育て支援の実際 ・様々な子育て支援の具体的事例 ・子育て支援の留意点	a:子どもの保育環境等の特徴を支える技術を身に付けている。 子どもの保育環境等の特徴について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b:地域の様々な子育て支援について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 c: 子どもの保育環境等について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業プリント 定期考査	ワークシート レポート 授業プリント	ワークシート レポート

2学期 3学期	保育の活動計画と実習	保育の活動計画と実習 ・保育の実践と計画 ・活動計画の作成 ・実習の実際 ・児童文化財を活用した実習	a:児童文化財を支える技術を身に付けている。 児童文化財の特徴について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b:児童文化財に特徴について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 実習をとして課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 c:保育の活動計画と実習について自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ共同的に取り組んでいる。	実習計画 実習観察 ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 作品 自己評価 相互評価	実習計画 実習観察 ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 作品 自己評価 相互評価	実習計画 実習観察 ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 作品 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度